

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区 名 住吉区
学校名 清水丘小学校
学校長名 岩崎 哲

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・清水丘小学校では、第6学年82名

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語科の平均正答率は、大阪市平均を2ポイント、全国平均を3.7ポイント下回った。観点別にみると、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱いに関する事項」「読むこと」に関しては、全国平均を上回れなかつたものの、大阪市平均とはほぼ同じ、若しくは少し上回る結果となった。

「話すこと・聞くこと」「書くこと」に関しては大阪市平均をそれぞれ5.7ポイント、6.8ポイント下回る結果となった。

算数科の平均正答率は、大阪市平均を6ポイント、全国平均を7.4ポイント下回った。領域別の正答率を見ると、「数と計算領域では6.3ポイント、「図形」領域では5.5ポイント、「変化と関係」の領域では10.6ポイント、「データの活用」領域では3.6ポイント下回った。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕言葉と特徴や使い方については定着している。情報の扱い方に関する事項についても、力が定着しているといえる。また「読むこと」に関しては、しっかりと内容を理解し、作者や筆者の思いを受け止めることができるようになってきている。しかし、「話すこと・聞くこと」「書くこと」に関しては特に力をつける必要がある。日頃から集中して話を聞き、内容を正確に聞き取ったり、順序だてて話したりする機会を増やす必要がある。また、自分の考えや理由を明確にしながら書いたり、文章の要約を書いたりする力も高めていく必要がある。

〔算数〕「図形」領域では、単に形や面積を求める公式を覚えるのではなく、その性質や特徴、構成要素を読み取り、多面的に図形を認識する力を高める必要がある。「変化と関係」の領域では、2つの数量の関係をしっかりと見極め、それを活用する力を高めていく必要がある。2つの数量の関係を、しっかりと自分の言葉で説明できることが大切である。「データの活用」の領域では、グラフを単に読み取るだけではなく、そのグラフの表す意味や、そのグラフからわかることをしっかりと読み取る力を高めていく必要がある。

算数科においても、計算力を高めるために反復練習を行ったり、四季の意味や計算方法の意味を確実に理解できるようにするなど、基礎基本の定着が不可欠である。

質問調査より

「自分にはよいところがありますか。」「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」という質問に対しては、肯定的回答率が81.5%、96.3%と高く、自己肯定感の高さがうかがえる。「朝食は食べていますか」「毎日同じくらいの時間に寝ていますか/起きていますか」の問いにも肯定的回答率が高く、それぞれの家庭で規則正しい生活を送っている児童が多いことがわかる。ただ、「いじめはどんな理由があつてもいけないことがありますか」「学校に行くのは楽しいと思いますか」「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」などの質問には、肯定的回答率が大阪市・全国平均をともに下回った結果となった。いじめを許さない雰囲気を高め、誰もが安心して活動できる学校づくりをより一層進めながら、自分の良さを周りの人や地域・社会に貢献しようという夢がもてるようにしていきたい。友達関係、学習など様々な場面で子どもたちが輝けるような場を作っていくことが急務である。

今後の取組(アクションプラン)

国語科においては、「話す力・聞く力」を高めるため、日ごろより自分の思いや考えをしっかりと、それを順序だてて話したり、友達の意見に興味をもって耳を傾け、自分の意見と比較しながら聞いたりするなどを意識した授業展開が必要である。文章の要約をしたり、日記や感想を書いたりする機会を多く設定し、それを発表したり感想を述べ合ったりする機会を大切にしていく。また、言葉自体に着目したり、情景描写や表現方法にも注目するなど、日ごろから言語感覚を磨く学習展開を心掛ける必要がある。算数科においては、定着度に個人差があるため、反復練習を行ったり補充問題に取り組んだりするなど基礎基本の定着が必須である。特に「数と計算」領域では、何度も練習を行うことで、計算の仕方を定着させ、「早く」「簡単で」「正確な」計算力を身に着けさせるようにする。「変化と関係」の領域においては、大阪市平均と大きく下回っている結果となったので、二つの数量の関係をしっかりと捉えられるような学習展開ができるよう、指導力向上に努めたい。集中して問題に取り組む姿勢を、日ごろから児童に身につけさせるようにしたい。

【 全体の概要 】

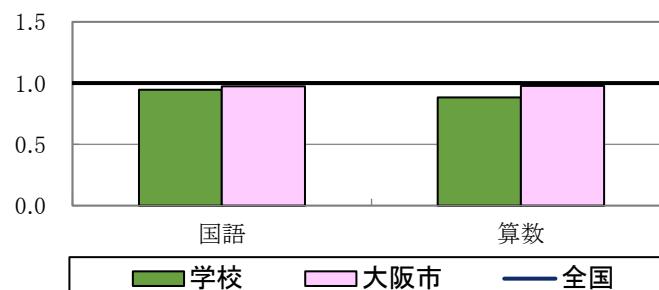
平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	64	56
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4

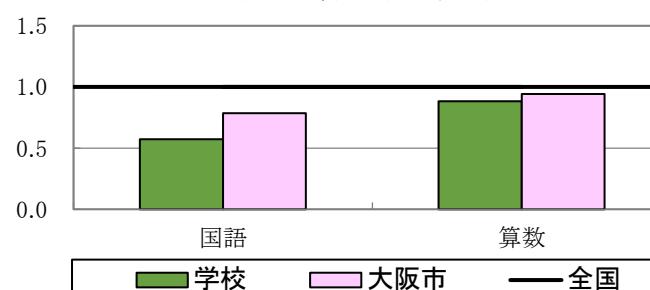
平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	2.4	3.0
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



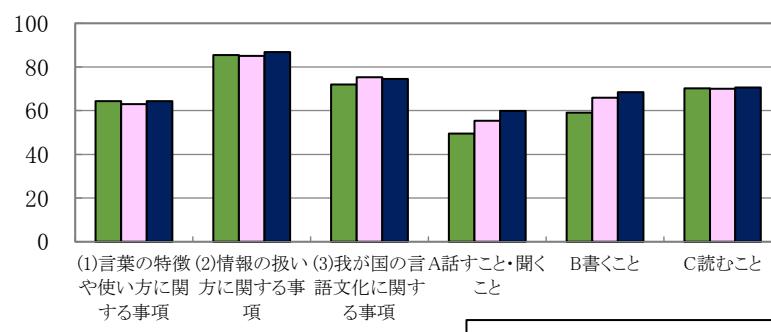
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	4	64.3	63.1	64.4
(2)情報の扱い方に関する事項	1	85.4	85.0	86.9
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	72.0	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	49.6	55.3	59.8
B 書くこと	2	59.1	65.9	68.4
C 読むこと	3	70.3	70.1	70.7

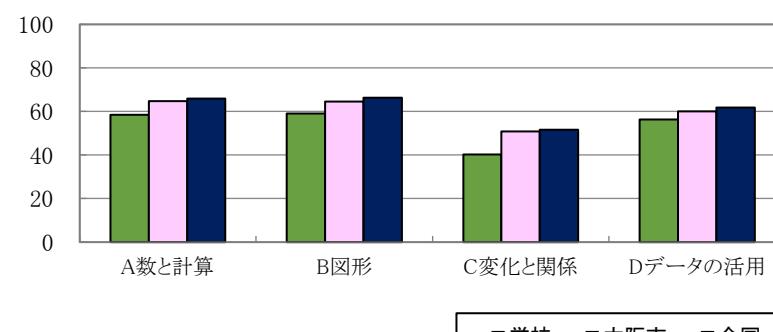
【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	58.5	64.8	66.0
B 図形	4	59.1	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	40.2	50.8	51.7
D データの活用	4	56.4	60.0	61.8

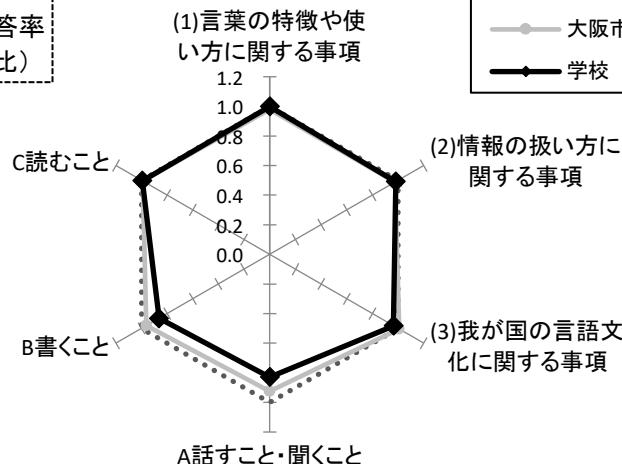
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



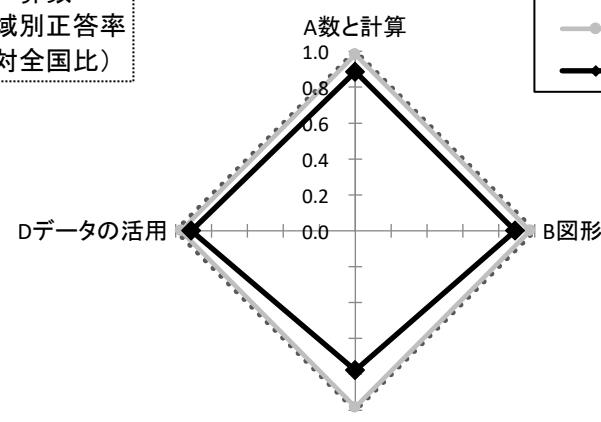
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)



算数
領域別正答率
(対全国比)



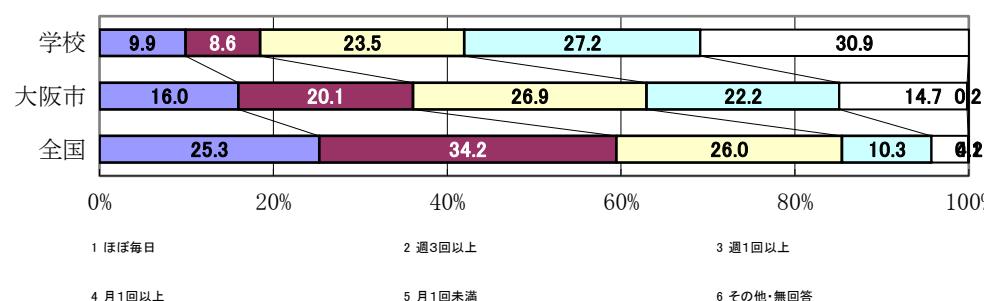
児童質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

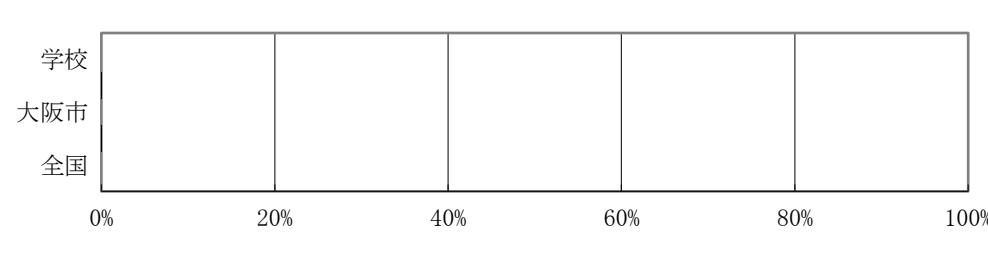
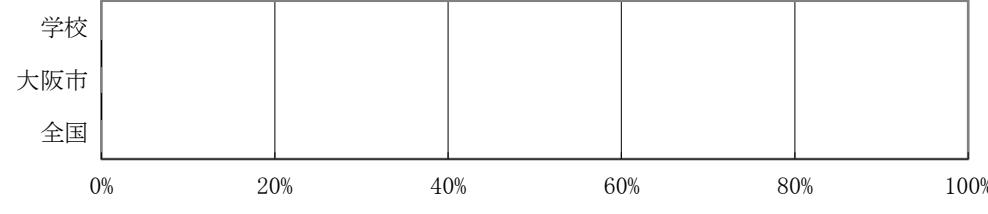
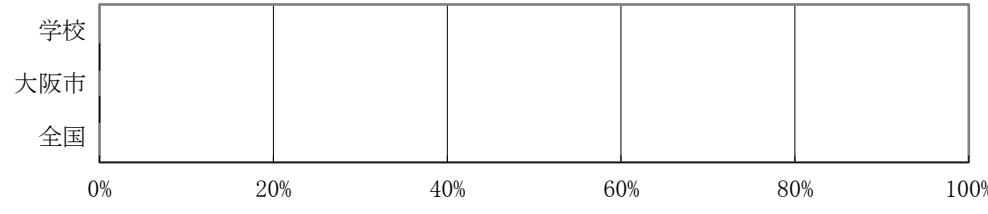
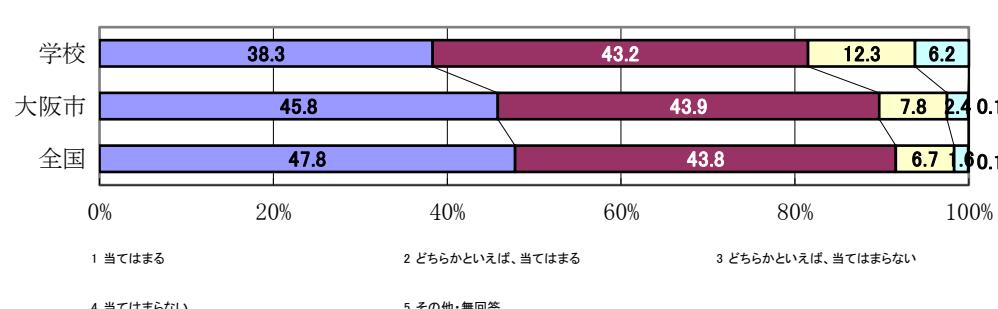
27

5年生までに受けた授業で、
PC・タブレットなどのICT機器
を、どの程度使用しましたか



37

授業や学校生活では、友達や
周りの人の考え方を大切にして、
お互いに協力しながら課題の
解決に取り組んでいますか



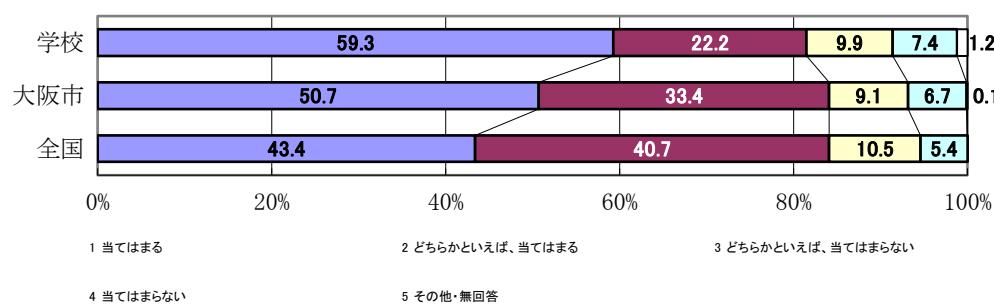
児童質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

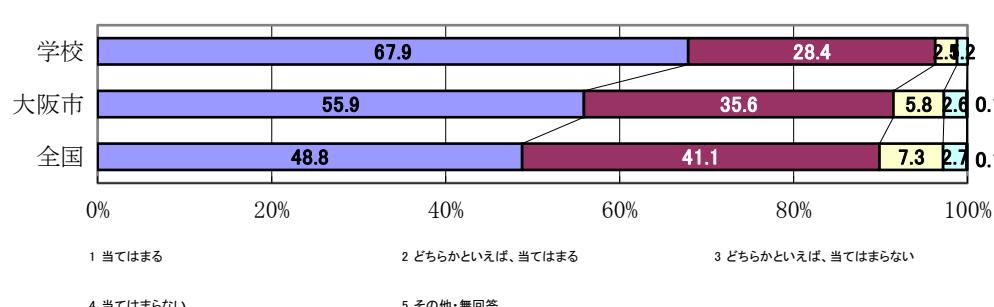
9

自分には、よいところがあると思いませんか



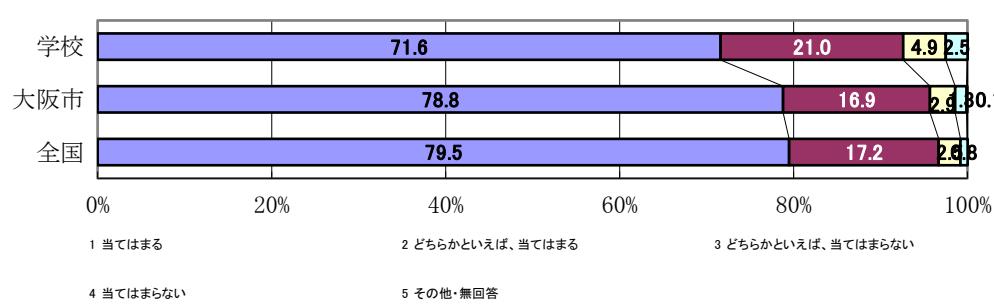
10

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



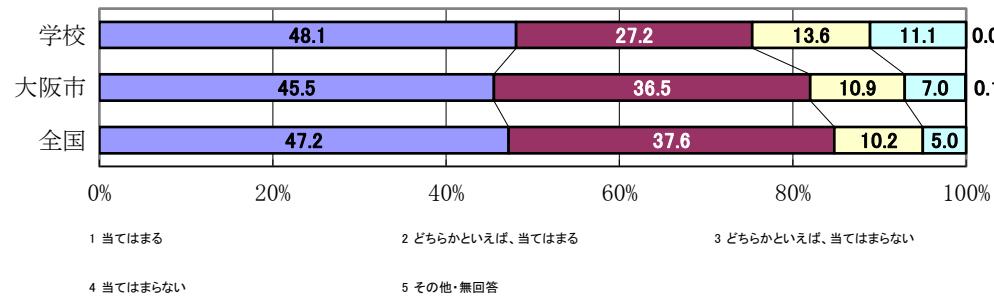
13

いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



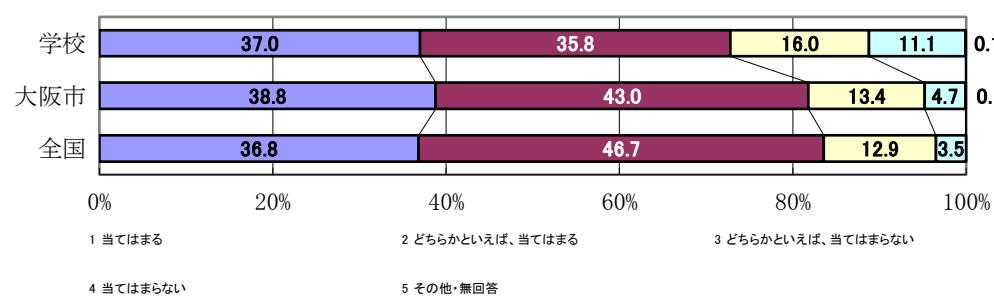
16

学校に行くのは楽しいと思いますか



25

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

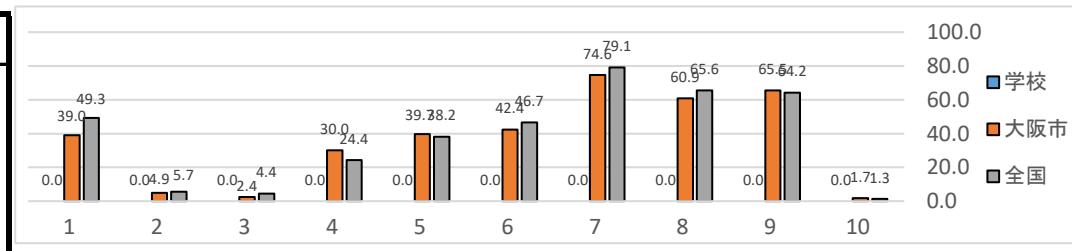


児童質問より(26)

質問番号
質問事項

26

放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか
(複数選択)



1 家で勉強や読書をしている

2 放課後子供教室や放課後児童クラブ(学童保育)に参加している

3 学校協働本部や地域住民などによる学習・体験プログラムを含む)

4 学習塾など学校や家以外の場所で勉強している

5 習い事(スポーツに関する習い事を除く)をしている

6 友達と遊んでいる

7 家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている

8 家族と一緒にしている

9 友達と遊んでいる

10 1~9に当てはまるものがない

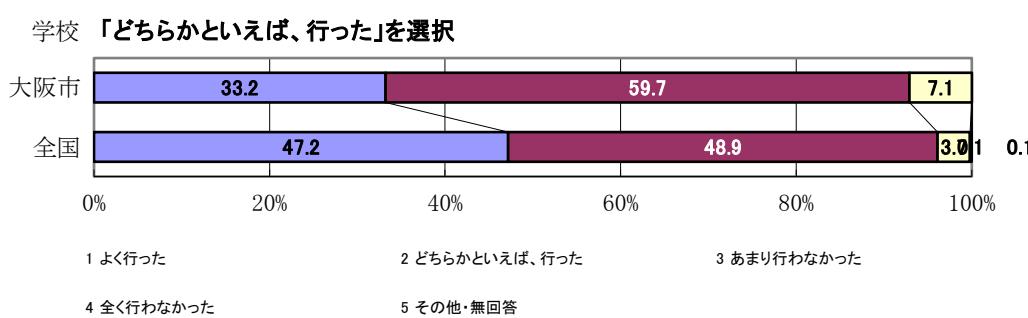
学校質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

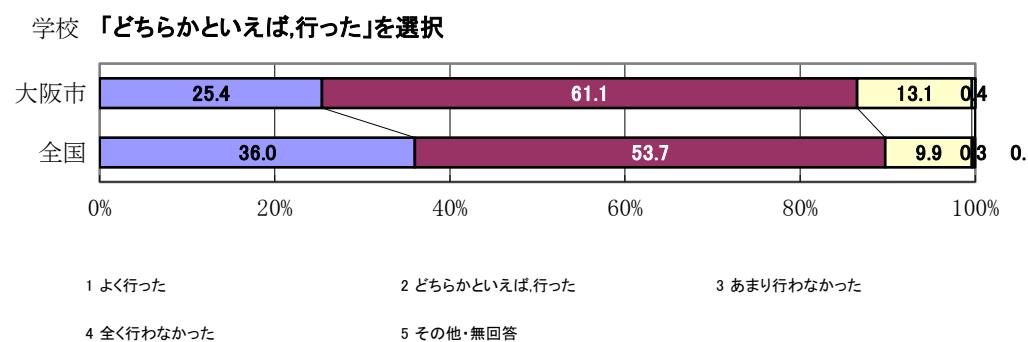
71

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか

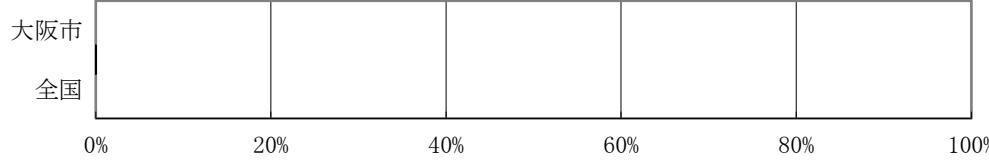


72

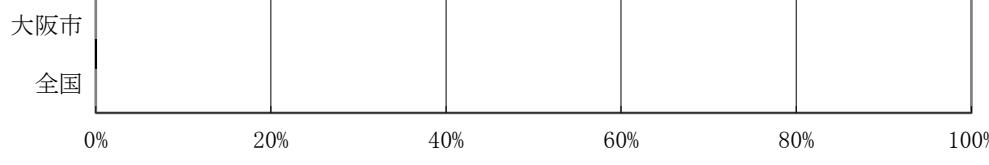
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習について、児童が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行いましたか



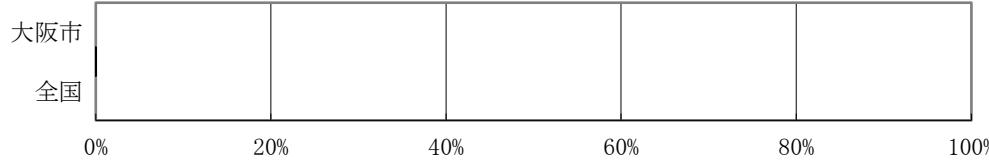
学校 「」を選択



学校 「」を選択



学校 「」を選択



学校質問より

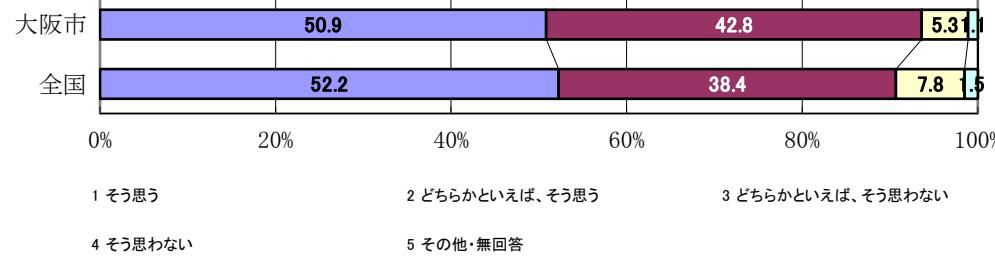
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

8

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童が相談したい時に相談できる体制となっていますか

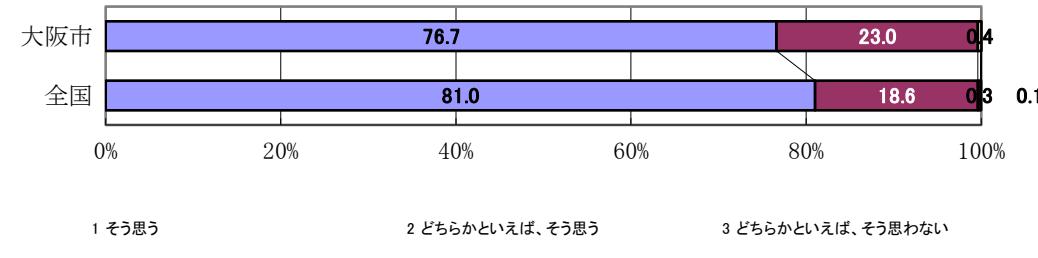
学校 「そう思う」を選択



21

各児童の様子を、担任や副担任だけでなく、可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換をしていますか

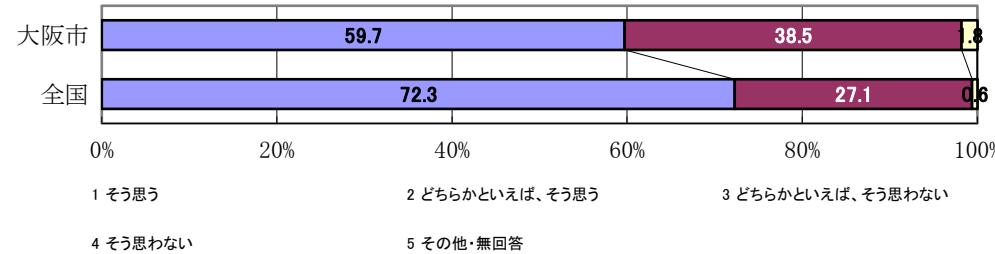
学校 「そう思う」を選択



23

教職員が困っているとき、互いに相談できる雰囲気があると思いますか

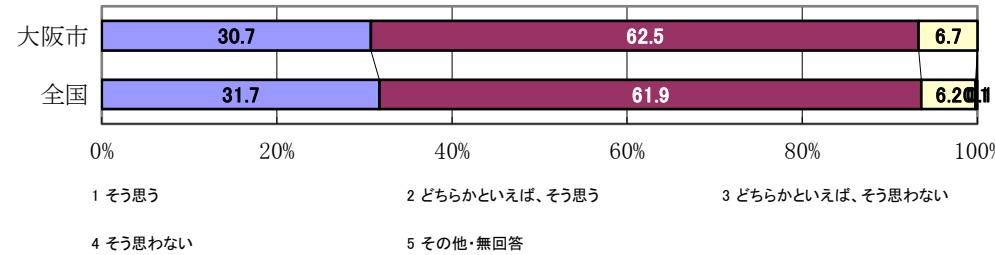
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



28

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考え方を大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組めていると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



39

調査対象学年の児童に対して、特別の教科 道徳において、取り上げる題材を児童自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか

学校 「よくしている」を選択

